

農作物の被害予想と対策（台風25号）

平成30年10月3日

環境農業推進課
産地・流通支援課

※農薬散布に当たっては、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
1. 水稲 ●普通期稲	黄熟期～収穫期	1. 強風、大雨による茎葉の損傷、穂ズレ、倒伏及び冠水。	1. 強風が予想される場合は、事前には場に湛水する。 2. 冠水したほ場は、排水に努めるとともに退水後浅水管理とし、新鮮な水を時々浅く入れ、根の回復を図る。 3. 台風通過直後のフェーン現象の発生により稲体の水分含有率が低下し、白未熟粒等が発生しやすくなるため、通水による水分補給により稲体の活力維持に努める。
2. 大豆	着莢～粒肥大期	1. 強風、大雨による茎葉の損傷、倒伏及び冠浸水。	1. 冠浸水したほ場では早期排水に努める。 2. 風水害により病害虫に対する抵抗性が弱まることから、病害虫の発生動向に注意し、適切な防除を行う。
3. 野菜（露地） ●ショウガ	生育期	風による茎葉の損傷、浸水による根茎腐敗病、青枯れ病の発生。	<p><事前対策></p> <p>1. 台風襲来前に防風対策を行う。 2. 浸水、冠水による被害を防ぐため、ほ場周辺の排水を良くしておく。 3. 台風通過後に想定される病害対策として農薬などを確認しておく。</p> <p><事後対策></p> <p>4. 根茎腐敗病、疫病の発生がみられたらただちに防除を行い、被害の拡大を回避する。 5. 倒伏したものは早く起こし、茎葉に付着した泥は洗い落とす。 6. 果菜類で被害の大きいスレ果や変形果等は早く摘果し、樹勢の回復を図る。 7. 潮風害を受けた場合は、なるべく早く水洗いして塩分を流す。</p>
●オクラ	収穫期	風による倒伏、茎葉の損傷と果実の品質低下並びに輪紋病（さくぐされ病）の発生。	
●シントウ ●ピーマン ●ナス	収穫期 〃 〃	風による倒伏、茎葉の損傷と果実の品質低下並びに浸水による青枯病、疫病の発生。	
●サトイモ ●青ネギ ●ニラ	生育期 生育期～収穫期 収穫期	風による茎葉の損傷。	

※農薬散布に当たっては、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
4. 野菜（施設） ●ナス ●ピーマン ●シシトウ ●ミョウガ ●メロン ●イチゴ ●キュウリ ●小ネギ ●ニラ ●雨よけ野菜全般	生育期 定植期～生育期 育苗期～定植期 収穫期、生育期 生育期 定植期 定植期 生育期 生育期 収穫期	1. ハウスのビニール破損、倒壊 2. 苗の葉ずれ、倒伏 3. ハウスへの浸水、冠水によりミョウガでは根茎腐敗病の発生、メロンでは裂果や果実の腐敗	<事前対策> 1. 台風前に防風対策を行う。 2. 浸水、冠水による被害を防ぐため、ほ場周辺の排水を良くしておく。 3. 台風通過後に想定される病害対策として農薬などを確認しておく。 <事後対策> 2. ハウス内への浸水対策や周辺の排水対策を十分に行う。 3. ビニールが破損し、修復までに長時間を要する場合は、白色の寒冷紗を被覆する。 4. 育苗中の苗床が、浸水、冠水や風ずれなどによって大きな被害を受けた場合（今後、枯死、生育不良等が予想されるもの）は、直ちに播き直しを行う。 5. 浸水があった場合は、できるだけ早くほ場の排水を図るとともに、病害の発生防止のために予防散布を行う。根茎腐敗病の発生がみられたら、直ちに防除を行い、発病部分を隔離して被害の拡大を回避する。また、薬剤の安全使用基準に留意する。

※農薬散布に当たっては、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
5. 花き（露地） ●キク ●センリョウ ●露地草花	生育期～収穫期 生育期 生育期～収穫期	1. ほ場への浸水と風による葉ズレ、潮風害、折損、倒伏。	1. 浸水しないように事前の排水対策を行う。浸水した時は排水に努める。 2. 風による被害を防ぐため、防風（防風ネット等）対策を行う。 3. 下葉に泥が付着した場合には、きれいな水で洗い流し、天候の回復を待って薬剤散布を行い、病害の発生を予防する。 4. 倒伏したものは、速やかに引き起こし、再度倒れないように管理する。 5. 潮風害を受けた時は、なるべく早くきれいな水で塩分を洗い流す。 6. 事前に施設の補強など防風対策を行う（センリョウ）。
6. 花き（施設） ●ユリ ●ソリダスター ●宿根アスター ●グロリオサ ●洋ラン ●ブルースター ●トルコギキョウ ●ダリア	生育期～収穫期、球根養成 生育期～収穫期 生育期～収穫期 生育期～収穫期 生育期 生育期 育苗～生育中(平坦部) 収穫期(山間部) 生育期	1. ハウスの倒壊、ビニール破損。 2. 浸・冠水による疫病、立ち枯れ病の発生。 3. 強風による葉ズレ、折損、倒伏、品質低下。	1. 事前に施設の補強、周辺の排水対策などを行う。 2. 茎葉に泥などが付着した場合には、きれいな水で泥を洗い流し、天候の回復を待って薬剤散布を行い、病害の発生を予防する。 3. ほ場に雨水が入った場合には、疫病の防除を行う。

※農薬散布に当たっては、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
7. 常緑（施設） ●温州ミカン	収穫終了～収穫期	1、ハウスのビニール並びに本体の破損 2、ビニール除去ハウスでの果実への褐色腐敗病の多発	1. 収穫中のハウスは、ハウスの補強（別添ハウス施設の台風対策参照）、防風垣の整備を行う。 2. 事前の排水対策 3. 強風によりハウス本体への影響が懸念される場合は、ハウス本体の被害を最小限にするため、ビニールの除去を行う。 4. 収穫中のビニール除去ハウスでは、事前、事後の褐色腐敗病対策を行う。
●その他のカンキツ類	果実肥大期～収穫期	1、ハウスのビニール並びに本体の破損 2、ビニール除去ハウスでの落果(ブタン類) 3、かいよう病の発生	1～3は同上 4. かいよう病対策として、事前、事後に銅剤や抗生物質剤などで防除を行う。
8. 常緑（露地） ●温州ミカン	収穫期～果実肥大期	1、果実、枝葉の損傷等	1. 防風垣の補強、幼木は支柱を立て固定、排水対策を行う。 2. 通過後は樹体倒伏があれば、露出した根が乾燥しないうちに起こして株元へ土寄せをする（かえって根を傷めないよう注意）。 3. 枝折れしたものは、なるべく早く切り返し切口に保護剤などを塗布する。 4. 潮風害を受けた場合は、速やかに水洗いして塩分を流す。
●その他のカンキツ類	果実肥大期	1、果実の落果 2、果実、茎葉の損傷等 3、かいよう病の発生	1～4は同上 5. かいよう病対策として、事前、事後に銅剤や抗生物質剤などで防除を行う。

※農薬散布に当たっては、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
9. 落葉果樹 ●ナシ ●カキ ●ブドウ ●クリ	収穫期～果実成熟期 果実成熟期 収穫終了～収穫期 収穫期	1、果実の落果 2、枝折れ、枝葉の損傷等 3、棚の倒伏	1. 防風垣の補強、更にナシ、ブドウなどは棚の補強、排水対策を行う。収穫適期の果実は早めに収穫する。 2. ナシは果実の棚への固定など落果対策を行う。 3. 台風通過後は上記（温州ミカン2～4）に準じる。 4. 病害の発生防止のため、薬剤を早めに散布する。